

経営比較分析表（令和4年度決算）

岩手県 西和賀町

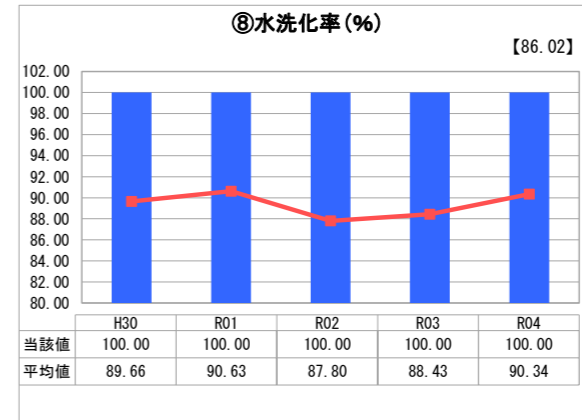
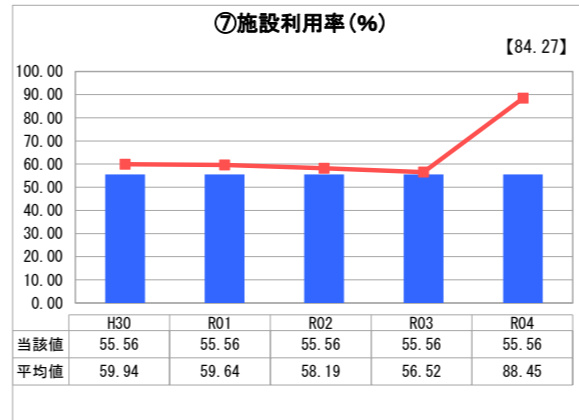
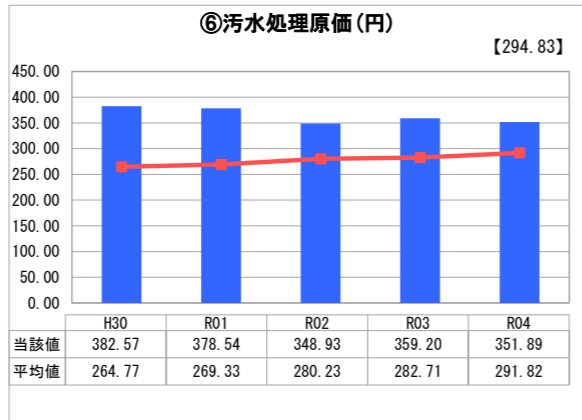
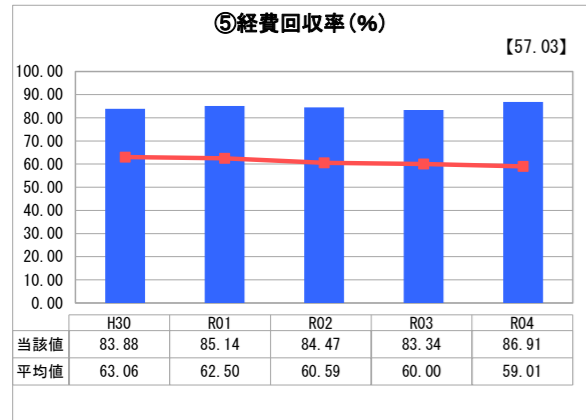
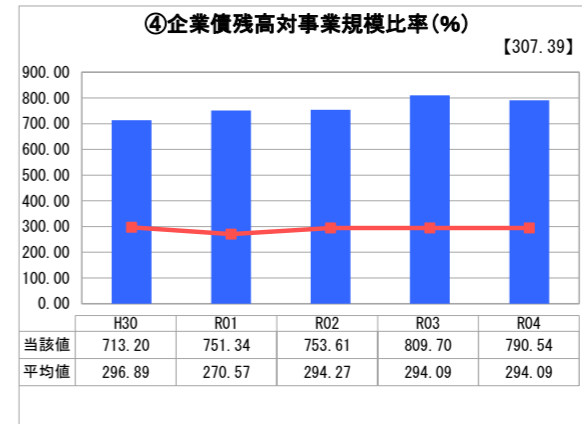
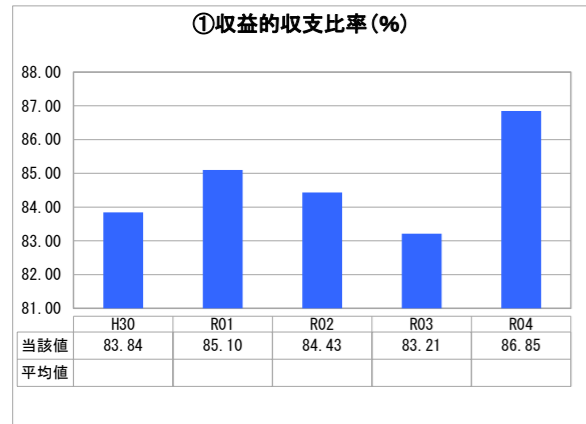
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 特定地域生活排水処理 | K2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 9.76 | 100.00 | 4,410 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 5,022 | 590.74 | 8.50 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 484 | 588.82 | 0.82 |

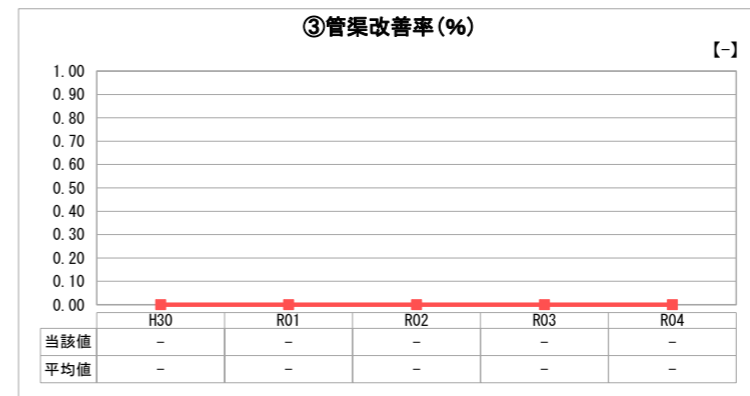
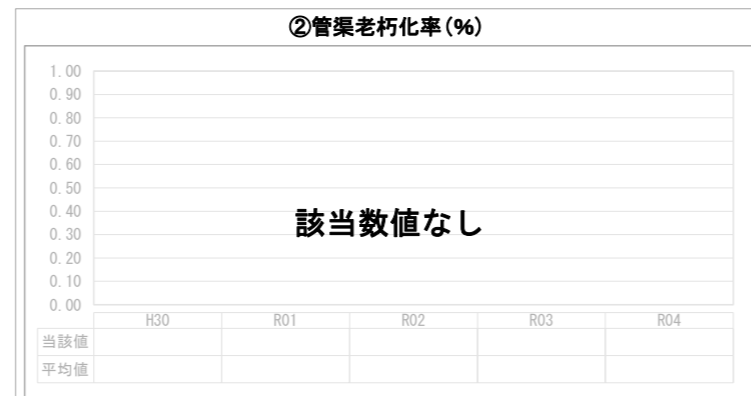
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、前年比3.6%ポイント増となっている。要因として、合併処理浄化槽設置基数が増加し水洗化率が上昇したことに伴い、使用料は若干増となっており、また、施設の経年劣化による維持経費が令和3年度と比較し減少したことにより、他会計繰入金の割合も下がったためである。

経費回収率については横ばいで、類似団体より高くなっている。

2. 老朽化の状況について

現在稼働している合併処理浄化槽のうち、古いものでは設置後20年を経過しており、経年劣化等による故障や不具合が発生、修繕が増えてきている。今後も修繕や再設置が増えてくると考えられ、施設維持管理コストは増加が見込まれる。

全体総括

本町は、下水道と農業集落排水の区域外の地域が多く、浄化槽設置事業を推進し全町処理で7割強の水洗化率となっている。今後も水洗化を推進し、補助事業の活用などにより導入経費を節減しながら、水洗化率の向上を図る。あわせて、使用料の増額も視野に入れ、検討していかなければならないと考えている。また、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上により適切に取り組むため、令和6年度からの公営企業会計への移行に向け取組を進めている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。